

# 令和7年度ダイバーシティ経営実践研修 ～女性・外国人・ニューロダイバーシティの活躍推進～

（令和7年12月19日）<オンライン開催>

目的	企業が、少子高齢化の中で人材を確保し、多様化する市場ニーズやリスクへの対応力を高め、持続的に成長するためには、性別や国籍、障害の有無、価値観、経験等が異なる多様な人材を確保し、それぞれの能力を最大限発揮することで、企業の競争力強化や価値創造を実現していく「ダイバーシティ経営」の推進が重要です。本研修では、ダイバーシティ経営の重要性や女性・外国人・ニューロダイバーシティの活躍推進に向けた取組について理解を深めます。
受講対象者	<input type="checkbox"/> 経済産業省職員、地方公共団体職員（人材育成や外国人との共生に関心のある方） <input type="checkbox"/> 民間企業職員（サステナビリティ、CSR、ダイバーシティ推進部門、人事部門などの職員、これから外国人従業員を採用したいと考えている企業や現在外国人従業員と共に働いている企業の職員）等
研修内容	<input type="checkbox"/> ダイバーシティ経営に関する講義 <input type="checkbox"/> ジェンダー平等と女性のエンパワメントにおけるUN Womenの取り組み <input type="checkbox"/> ニューロダイバーシティに関する先行取組企業の事例 <input type="checkbox"/> 企業における外国人の活躍に向けたワークショップ（動画教材の紹介、使い方）等  ※当日は、講義を聴くだけでなく、ワークショップを予定しています。周囲の音が入り込まない等、参加者同士でストレスなく交流できるオンライン環境でご参加ください。



性別？

国籍？

世代？

「ダイバーシティ」という言葉から何をイメージしますか…？

「ダイバーシティ経営」は、多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営です。

「多様な人材」とは、性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教・信条、価値観などの多様性に加え、キャリアや経験、働き方などの多様性も含みます。

担当 経済産業政策局経済社会政策室 小迫、上里、太田  
(連絡先) 03-3501-0650